

日産厚生会玉川病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究課題名	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン B1 液投与による血流感染リスクの検討
当院の実施責任者	(所属) 医療技術部 栄養給食科 (氏名) 篠原 勇介
他の研究機関および各施設の 研究責任者	なし
研究の目的	アミノ酸・糖・電解質・ビタミン B1 液(以下ビーフリード輸液®)は腕などの末梢静脈から点滴投与する輸液剤です。通常、経口からの栄養摂取が不十分な場合や、栄養状態が軽度低下している場合に栄養成分を補給する目的で短期的に用いられます。ビーフリード輸液®はその pH や高栄養価である点からバチルスセレウス菌の発育に適しており、血流感染を起こしやすいと言われております。そのため、添付文書では「通常、成人 500ml 当たり 120 分を基準とし、高齢者、重篤な患者には更に緩徐に注入する。」と記載があります。当院においても、栄養補給の目的で多く用いられており、使用例では高齢者、重篤な患者も多く、投与時間に関しては様々です。ビーフリード輸液®投与によるバチルスセレウス菌の血流感染リスクを調査、検討します。
研究の方法	診療録を元に後方的に、患者背景(性別・年齢・BMI)、投与速度、投与期間、混注の有無、血液培養検査の有無、血液培養検査からのバチルスセレウス菌の検出の有無、経口・経腸栄養の有無の関係を調査します。副次的に 2023 年 12 月 4 日にビーフリード輸液®投与によるバチルスセレウス菌の血流感染のリスクを全医師へ周知し投与時間 8 時間以内を推奨したことによる、投与時間の変化についても評価を行います。
対象となる方	2023 年 6 月 1 日～2024 年 5 月 31 日までの期間、当院に入院され、ビーフリード輸液®を投与した患者さま。(821 名)
調査期間	西暦 2024 年 8 月 1 日～2025 年 3 月 31 日
使用する情報・試料	診療録を元に後方的に、患者背景(性別・年齢・BMI)、投与速度、投与期間、混注の有無、血液培養検査の有無、血液培養検査からのバチルスセレウス菌の検出の有無、経口・経腸栄養の有無の関係を調査します。

個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除し解析を行います。研究成果は学会や論文等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。本研究のために収集したデータは共同研究以外では使用せず、研究終了後5年間保管し、その後はすみやかに消去します。
試料/情報の他機関への提供有無、および提供方法	なし
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	公益財団法人日産厚生会玉川病院 (所属) 医療技術部 栄養給食科 (氏名) 篠原 勇介 (電話番号) 03-3700-1151
備考	